

国語科学習指導案

令和元年9月20日金曜日
第5校時1年C組40名
指導者 恵藤美貴

1 単元名 附中生が選ぶ絵本大賞2019

～お薦めする物語の魅力を、根拠を明確にして伝えよう～
（「大人になれなかった弟たちに…」米倉斉加年）

2 単元設定の理由

<学習者について>

この学級の学習者は、文学的な文章を対象とした「読むこと」の「学び」については教材「花曇りの向こう」を用いて「場面の展開や登場人物の相互関係」の捉え方を確認し、心情描写・行動描写・情景描写を読み進めることを通して、「心情の変化などについて、描写を基に捉えること」を学習した。読書生活についてのアンケートでは、読書が好きと答える生徒が90%おり、理由として多かった回答は「物語の世界に入り込んで楽しめるから」「面白いから」であった。本を選ぶ基準についての質問に対しては「あらすじを読んで面白そうと思えるもの」を全員が選択し、次いで「気軽に読めるもの」「タイトル」という回答が多かった。この結果から、学習者は文学的な文章をストーリーに着目し、気軽に楽しむために読んでいくことがわかる。そのような傾向を認めるならば、学習者は本単元で付きたい力である、言葉による見方・考え方を働かせた、物語の構成や展開、表現の効果に着目した読み方に対しては関心が薄いと考えられる。

<単元について>

教科書教材「大人になれなかった弟たちに…」は、ストーリーを支える構成や展開、表現の効果に着目させるのにふさわしい教材である。作者自身の戦争体験を現代の子供たちに語り継ぎたいという思いが、出来事を淡々と語る敬体の文章から伝わってくる。回想という物語の構成、戦時中の食べ物についてのエピソードと締めくくりの一文の呼応という展開の妙、繰り返し表現の多用、悲しみと対比するように情景の美しさを際立たせる描写、省略、名詞をカタカナ表記にしている意味など、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉えたり問い直したりして読めば、文学的な文章の魅力に迫ることができる。本単元では、選んだ絵本の文章（物語）の魅力を発表し、もっとも共感を得た班の発表内容を県立図書館に掲示していただくようにすることで、伝える対象者である図書館を利用する人たちへと意識を向けて意欲的に活動することを目指した。選んだ物語の魅力を伝えるために教科書教材での学びを生かすことで、文章をストーリー以外の視点から読むことの面白さを理解させ、本単元の目標へと迫れるであろう。

<指導・「問い」の工夫について>

指導に際しては、単元の課題に主体的に取り組ませるために、まず教科書教材を範読し、この単元の目標を示した上で、生徒と共に学習計画を立てることから始める。教科書教材での「学び」を生かして単元の課題解決に迫るにはどのような「学び」が適切かを考えさせる。その中で「教科書教材で得た読みの『学び』を他の作品で活用する」という気付きを引き出したい。学習計画を立てるのは本単元ではA組であるが、年度当初より輪番で学習計画を立ててきており、毎回他3クラスにおいても教師主導の単元計画で学習する時よりも主体的に学ぶ姿が見られた。これを本単元の「問いの工夫Ⅰ」と位置付ける。「大人になれなかった弟たちに…」は絵本として出版された作品である。教科書教材学習後に選択する作品を絵本とし、その物語の魅力を伝えるという目的は、学習者の読むことへの意欲が「学び」を推進するエンジンとなり、選択した作品にみられる表現の魅力に主体的に迫ろうとするであろう。ここで、ストーリー以外の文学的な文章の読みの着眼点に気付けない学習者には、教科書教材で学んだこと振り返らせる指導場面や他の人の気づきに触れさせる対話的な場面を設け、自分の読み方との違いに気付かせることで、多面的な読みの「学び」へと導きたい。これを「問いの工夫Ⅱ」と位置付ける。

3 単元の目標

お薦めの物語の魅力を伝えるために、ストーリー以外の文章の工夫を捉え、分類シールで可視化することを通して、文学的文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考えることができる。

4 単元の評価規準

- 10冊の絵本を読み、最も心に響く1冊を選んでその理由に迫ろうと、「大人になれなかった弟たちに…」で学んだ読み方を参考にしたり、辞書や国語便覧を用いて表現技法の効果を理解しようとしたりしながら、物語を繰り返し読んでいく。 [関心・意欲・態度]
- 文学的文章の構成や展開、表現の効果に気付き、その物語の魅力がどこにあるか、根拠を明確にして自分の考えを伝えることができる。 [読む能力—エ]
- 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語句や文の効果に気付いている。 [言語についての知識・理解・技能—イ（イ）]

5 単元指導計画（本時7／9時間）

単元のめあて お薦めする物語の魅力を根拠を明確にして伝えよう

展開	時間	学 習 活 動	指導上の留意点	評 価
導 入	1	○単元の目標を知り、単元の学習計画を立てる (本単元担当クラス)	・教科書教材の目標を確認する。	
	2		「問い」の工夫Ⅰ ・ 配当時間を伝え、自分たちで計画を立てさせることで見通しをもたせる。 ・ 本文を読み、初読の感想を書かせる。 ・ 絵本の魅力を、本文に根拠を求めて説明するスピーチをする内容へもっていく。	
	3	○「大人になれなかった弟たちに…」はなぜ人の心を打つのかに迫る	・ A組が作成した学習計画をシラバスにして配付し、見通しをもたせ、範読を聞かせる。 ・ この文章の魅力はどこにあるのか個人で考え、教科書に線を引かせる。 ・ 見つけた工夫を分類し、行頭にシールを貼らせる。 分類…表現技法 描写 構成や展開 その他	
展 開		○人に薦めたい絵本を1冊選ぶ	・ 朝読書の時間に帯で10冊の絵本のテキストを読ませ、物語の魅力を感ずる一冊を選ばせる。	関・意・態 読む—エ
	4	○「大人に…」の文章の工夫を見つけ、伝え合う	・ 模範スピーチを見せ、ゴールイメージをもたせる。 ・ 前時に個人で捉えた工夫を、班で発表させる。 ・ 班員の発表を聞いて理解した工夫をメモさせる。	
	5	○「大人に…」の魅力を根拠を明確にして伝えるスピーチをする	・ 班ごとに見つけた工夫とその効果を発表させ、全体で共有する。 ・ 1分間のスピーチで物語の魅力を班内で発表させる。	
	6	○お薦めする物語の素晴らしさを見つける	・ 「大人に…」での読みを活かして各自で自分の選んだ物語の魅力を探させる。 (本文を印刷した紙に線を引き、シールを貼らせる)	

7 本 時	○お薦めする物語の魅力の伝え方を考える	<ul style="list-style-type: none"> グループ内で、個人の意見を発表させる。 教科書教材で学習した内容や新たな気づきを発表させることでより多くの視点からの読み方を促す。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p align="center"><u>「問い」の工夫Ⅱ</u></p> <p>○文章を読む観点を増やさせるための「問い」 「他にも魅力はないだろうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書教材での学習を振り返らせる。 今読んでいる作品での気づきを発表させる。 他の班の気づきを聞きに行かせる。 </div>	関・意・態 読む-エ	
終 末	8	○発表会をする	<ul style="list-style-type: none"> 班ごとに、1人あたり1分以内のスピーチをさせる。 各自が文章の魅力と感じた部分について、根拠と共に述べる部分を必ず入れるよう指導する。 	関・意・態
	9	○振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 読み取る力がどのように深まったか、選んだ物語の表現に新たな気づきや考えがもてたかを振り返る。 	

6 本時の指導

- (1) 題 材 附中生が選ぶ絵本大賞2019～お薦めする物語の魅力を、根拠を明確にして伝えよう～
- (2) ねらい 各自が読み取った物語の魅力とその根拠を班で交流し、発表内容を吟味する活動を通して、多面的な読みに触れ、文章の構成や展開・表現の工夫に気付かせる。
- (3) 本時における「問い」の工夫
班で読みを深める前に、教科書教材で学んだことを想起させる発問（「大人に…」ではどんな視点での読み方を学んだだろうか。）を挟んだり、今読んでいる作品で新たな視点を得た班に発表させたりすることで、新たな視点からの読みを促す。
- (4) 展開

学習活動	時	指導及び指導上の留意点	期待される反応	○評価・備考
1. 本時の活動を 確認し、本時の 目標を知る	3	○単元計画を確認し、本時のめあてを確認させる。		
めあて：お薦めする物語の魅力を探そう。				
2. 各自の読みを 班で伝える	10	<p>○選んだ物語のどこに魅力を感じるか、本文に根拠を求め、班員に説明させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文の拡大コピーに線を引いて分類シールを貼り、工夫とその効果を説明させる。 <p>分類 …(黄)人物 (緑)情景描写 (青)表現の工夫 (白)構成や展開の工夫 (赤)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表を聞き、理解したことを赤で自分のプリントに追記させる。 		<p>本文コピー 分類シール</p> <p>伝国 (ワークシート)</p> <p>赤ペン(各自)</p>
3. 他の人の読み から学ぶ	10	<p><u>「問い」の工夫Ⅱ</u></p> <p>○他にも魅力はないかを問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「大人に…」を振り返り、どんな視点での読み方があったかを確認する。 		

<p>4. 班で読みを深める</p> <p>5. 本時の振り返りをする</p>	<p>15</p> <p>5</p>	<p>・今読んでいる作品での気づきを発表させる。</p> <p>・他の班の気づきを聞きに行かせる。</p> <p>具体的な視点…一文の長さ 文末表現 せりふ 語り (地の文) キーワード</p> <p>○班で新たな視点や解釈を出し合わせる。</p> <p>○新たに見つけた魅力を全体に発表させる。</p> <p>○出し合った意見を基に、発表の構成を話し合わせる。</p> <p>○本時の振り返りをワークシートに記入させる</p>	<p>・新たな視点で読もうとしている。</p>	<p>関・意・態 (観察)</p> <p>読むーエ (本文へのメモ)</p> <p>読む (エ)</p> <p>(ワークシート)</p>
<p>振り返り：お薦めする物語の魅力を探すためにどんな視点から読んだか振り返ろう。</p>				
<p>(予想される振り返りの姿)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストーリーだけを読むのではなく、場面の順序や一文の長さや文体に着目した。すると、一文を短くすることで緊迫感を出したり、敬体で書くことで読者に優しく語り掛けているような印象にしたりする効果があるのではないかと気付いた。 ・比喻や省略法などの表現技法に着目すると、その表現技法を使うことで、その場面での人物の心情の強さを強く伝えようとする作者の意図が読み取れた。 ・今までは内容だけに着目していたが、全体を意識して読むことで、同じ展開が繰り返されながら徐々に事態が変化しているという構成になっていることがわかった。 				
<p>6. 次時の活動を 確認する</p>	<p>5</p> <p>2</p>	<p>○振り返りを発表させる。</p> <p>○全体に対して問い、確認する。</p>		

(5) 板書計画

<p>○文章の魅力</p> <p>表現の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 比喻 ↓ イメージしやすい ・ 反復法 ↓ 感情を強調 ・ 省略法 ↓ 読者に考えさせる <p>構成・展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 過去を振り返る (額縁構造) ↓ 昔のことが現実とつながっている <p>人物の描写</p> <p>...</p>	<p>振り返り お薦めする物語の魅力を探すためにどんな視点から読んだか振り返ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 場面の順序や一文の長さ、文体に着目して読む。 ↓ テンポの良さ、心情 ・ 表現技法の役割 ↓ 心情を強く伝える ・ 全体を意識 ↓ 同じ展開から次第に発展 	<p>① 班で発表 ↓ 赤でメモ</p> <p>② 話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もっと他に魅力はないか? ・ 物語の魅力をどう伝える? <p>③ 振り返り</p>	<p>附中生が選ぶ絵本大賞2019</p> <p>お薦めの物語の魅力を根拠を明確にして伝えよう</p> <p>めあて お薦めする物語の魅力を探そう</p>
--	--	---	--

附中生が選ぶ絵本大賞2019

～お薦めする物語の魅力を根拠を明確にして伝えよう～

①単元の目標は何か（資質・能力）

魅力的だと感じる物語の良さを伝えるために、ストーリー以外の文章の工夫を捉え、分類シールで可視化しながら読むこと通して、文学的な文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考えることができる。

学習指導要領「読むこと一エ 文学的文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。」

④問題意識を持たせるために、どのような導入を図るか（③を届けるために）

目標を確認し教科書教材を読んだ後、本単元の担当クラスと共に学習計画を立てる。

教科書教材を共通教材として、物語の構成や展開、表現の工夫を読み取る。

魅力的だと感じた絵本を自分で選ばせる。

10冊の絵本を全員が読んでおくことで、クラスメイトの発表を聞いて自分の読みを振り返り、新たな視点で読もうとする意識を高めさせる。

問いの工夫Ⅰ

学習者の興味・関心を高めるために、単元の学習計画を担当クラスで話し合っ立てさせる。担当クラスが選んだ10冊から魅力的だと感じた一冊を個人で選ばせる。

③どのようなめあて、課題にするか

（各教科の見方・考え方が働くもの）

お薦めする物語の魅力を、根拠を明確にして伝えよう

⑥使える資料は何か。どこで使うか。

教科書教材
「大人になれなかった弟たちに…」

事実を基にした絵本10冊
国語便覧
国語辞典
類語辞典

⑤どんな追及活動を行わせるか（言語活動含む）

魅力的だと感じた物語について、その文章の魅力を伝えるために文章の構成や展開・表現の効果に着目して作品を読む。発表を聞いた学習者、国語科教員、図書館司書から物語の魅力が伝わる発表だったと評価を得たひと班については、紹介する様子と紹介文を県立図書館に掲示していただく。

問いの工夫Ⅱ

お薦めする物語の魅力に迫るためにどのような読み方ができるかを問い、教科書教材を想起させたり、他班の読みを参考にさせたりして視点を広げさせる。

②単元の最後に理解させたいこと、発言させたいことは何か

（単元のゴール+振り返りの視点）

文章の構成や展開、表現の効果に気付き、それらについて考える読み方ができるようになる。

【予想される振り返り】

今までは、文章を読むときにストーリーを追っただけだったが、今後は、構成や展開、表現の工夫にも着目し、もっと深く物語を楽しみたい。

⑦まとめの表現活動をどうするか

・県立図書館に特設展示していただく。